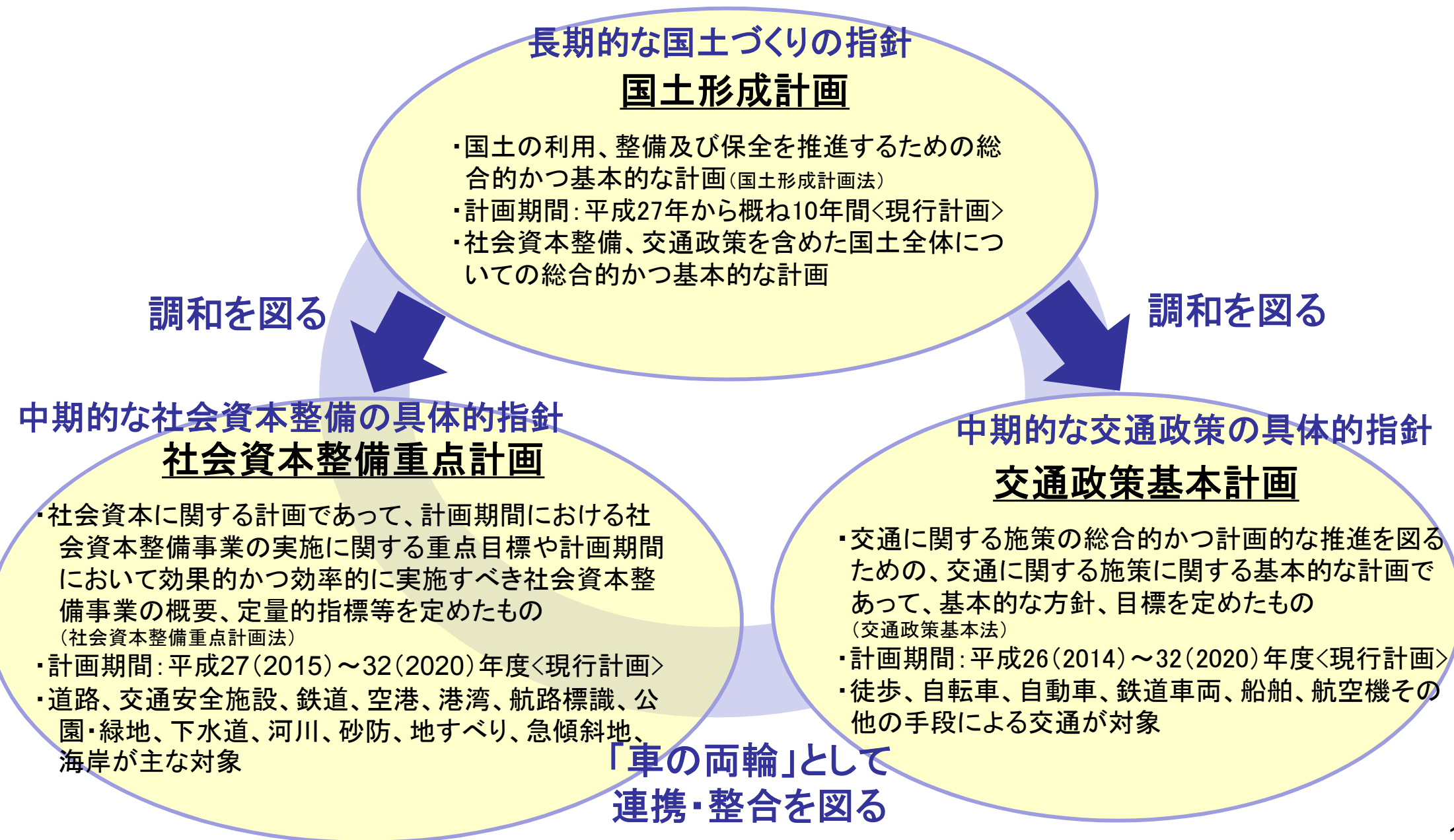


近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画(原案)の概要

平成28年2月

近畿地方整備局

国土のグランドデザイン2050(H26. 7)
(「コンパクト＋ネットワーク」による対流促進型国土の形成)



『広域地方計画』と『地方ブロックの社会資本整備重点計画』の関係

- 『広域地方計画』は広域ブロックの方向性や地域戦略等を、『地方ブロックにおける社会資本整備重点計画（地方重点計画）』はこの実現に向けた社会資本整備の具体的な計画を定めるもの。
- 『広域地方計画』と『地方重点計画』は、両者が調和を図り「関西の目指す姿」を実現するもの。

	広域地方計画 ～長期的な広域ブロックづくりの指針～	地方ブロックにおける社会資本整備重点計画 ～地方ブロックの社会資本整備の具体的な計画～
目的	新たな国土形成計画が目指す「多様な広域ブロックが自立的に発展する国土の構築」の具体化を図るため、広域ブロックにおける <u>国土の利用、整備及び保全を推進するための総合的かつ基本的な計画</u> として定めるもの。	各地方の特性に応じて社会資本を重点的、効率的かつ効果的に整備し、適切に維持管理・更新していくため、広域地方計画に示す地方ブロックの方向性や地域戦略の実現に向け、地方ブロックの <u>社会資本整備の具体的な計画</u> を定めるもの。
計画の対象	<u>国土の利用、整備及び保全に関する府省にまたがる施策全般</u>	道路、空港、港湾、下水道、河川等の <u>社会資本整備事業</u>
計画期間	21世紀前半期を展望しつつ、今後 <u>概ね10年間</u>	<u>H32年度まで</u>
対象地域	<u>全国8ブロック</u>	広域地方計画の8ブロックに北海道と沖縄を加えた <u>全国10ブロック</u>
根拠法	国土形成計画法	社会資本整備重点計画（閣議決定）
計画に盛込む内容（案）	○国土（関西）の現状と課題 ○国土（関西）の目指す姿と戦略 ○広域の見地から必要と認められる主要な施策 ◇方針・目標の実現に必要なプロジェクト 【プロジェクト（ハード・ソフト一体となった施策パッケージ）の例】 ・関西ゲートウェイ＆ネットワークプロジェクト ・歴史・文化・おもてなしプロジェクト ・関西強靱化・防災連携プロジェクト	○ブロックの現状と主要課題 ○ブロックの目指すべき将来の姿と社会資本整備の基本戦略 ○社会資本整備の重点目標 ◇（重点目標の達成度を評価し、わかりやすく示すための）指標 ◇（目標達成のための具体的な取組として地方を代表又は地域を支える）主要事業・施策 【指標の例】 ・長寿命化計画の策定率 ○○%（H26）→○○%（H32） ・緊急輸送道路路上の橋梁の耐震化率 ○○%（H25）→○○%（H32） ・特定道路のバリアフリー化率 ○○%（H25）→○○%（H32）

第1章 近畿ブロックの現状と主要課題

- 1. 近畿ブロックの特徴
 - (1)近畿の地域構造
 - (2)歴史が深く息づき、個性的で多様な地域からなる近畿
 - (3)産業等の諸機能の集積が進んだ近畿
 - (4)最先端の技術力で我が国を牽引する近畿
 - (5)アジアとのつながりが深い近畿
 - (6)人と自然のつながりが深い近畿
 - (7)近畿圏における社会資本整備の役割
- 2. 近畿ブロックにおける近年の状況変化と課題
 - (1)社会資本の老朽化
 - (2)近畿を脅かす自然災害リスク
 - (3)本格的な人口減少社会の到来と急激な高齢化の進展
 - (4)近畿の相対的地位の低下と東京一極集中からの脱却
 - (5)外国人旅行者の急激な増加
 - (6)近畿を取り巻く社会の潮流変化

第2章 近畿ブロックの目指すべき将来の姿と社会資本整備の基本戦略

- 1. 近畿ブロックの将来像
 - (1)「アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域」
 - (2)「日本の歴史・伝統文化が集積し、世界を魅了し続ける圏域」
 - (3)「快適で豊かに生き生きと暮らせる圏域」
 - (4)「暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域」
 - (5)「人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域」
- 2. 近畿ブロックの社会資本整備の基本戦略
 - (1)災害に強く安全・安心な社会を築く、防災・インフラマネジメント戦略
 - (2)我が国の成長エンジンを目指す、経済・産業活性化戦略
 - (3)歴史・文化を活かした近畿圏観光戦略
 - (4)誰もが豊かに生き生きと暮らせ、地域を元気にする活力創出戦略
 - (5)自然との共生を図る環境共生戦略
 - (6)ストック効果の最大化

第3章 近畿ブロックにおける社会資本整備の重点目標

- 近畿ブロックの重点目標とプロジェクト
- 重点目標1「成長を支え、安全・安心で強靱な社会の構築」
 - プロジェクト1-1 切迫する巨大地震・津波への備え
 - プロジェクト1-2 激甚化する水害・土砂災害等の自然災害への備え
 - 重点目標2「社会資本の戦略的な維持管理・更新の実現」
 - プロジェクト2-1 確実なメンテナンスサイクルの実施
 - 重点目標3「国際競争力を強化し、輝く近畿となるための社会資本整備」
 - プロジェクト3-1 港湾・空港をはじめとするゲートウェイ機能強化
 - プロジェクト3-2 近畿圏の成長を支える社会資本整備
 - 重点目標4「近畿が誇る歴史・文化を活かした地域づくりに資する社会資本整備」
 - プロジェクト4-1 歴史・文化・風土を活かした地域づくり
 - プロジェクト4-2 国際観光・広域観光を推進するための社会資本整備
 - 重点目標5「誰もが暮らしやすい地域づくりを支える社会資本整備」
 - プロジェクト5-1 どこにいても暮らしやすく安全・安心な生活環境の創出
 - プロジェクト5-2 円滑に移動できる交通ネットワークの形成と
地域産業を支える社会資本整備
 - 重点目標6「人と自然が共生する持続可能な社会の形成」
 - プロジェクト6-1 自然との共生の推進と循環型社会の形成

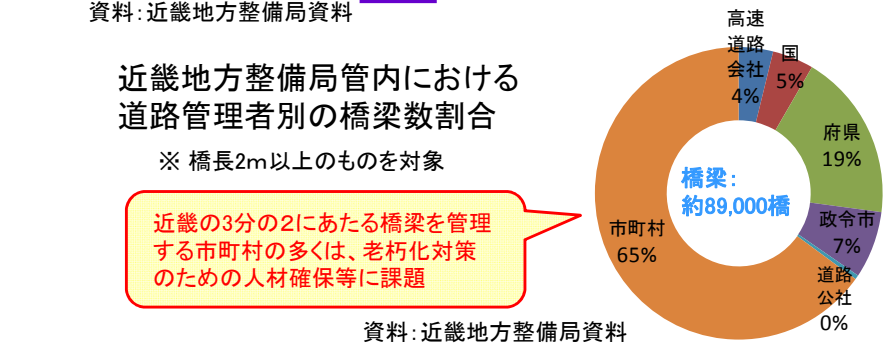
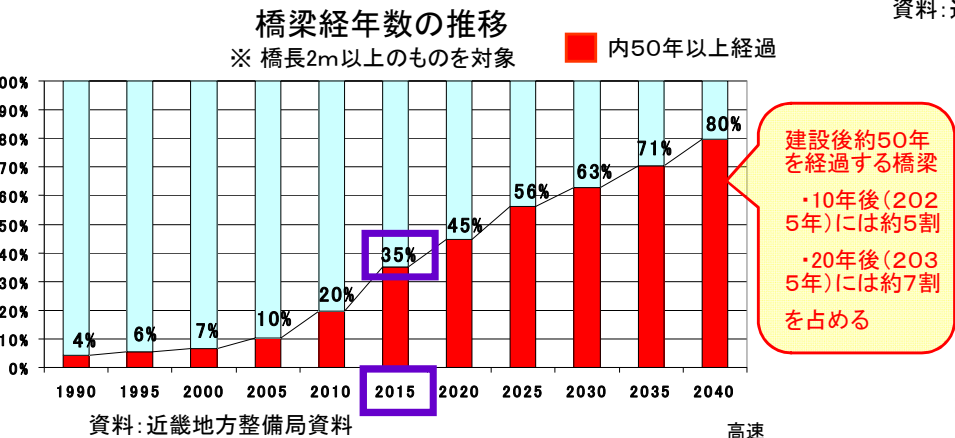
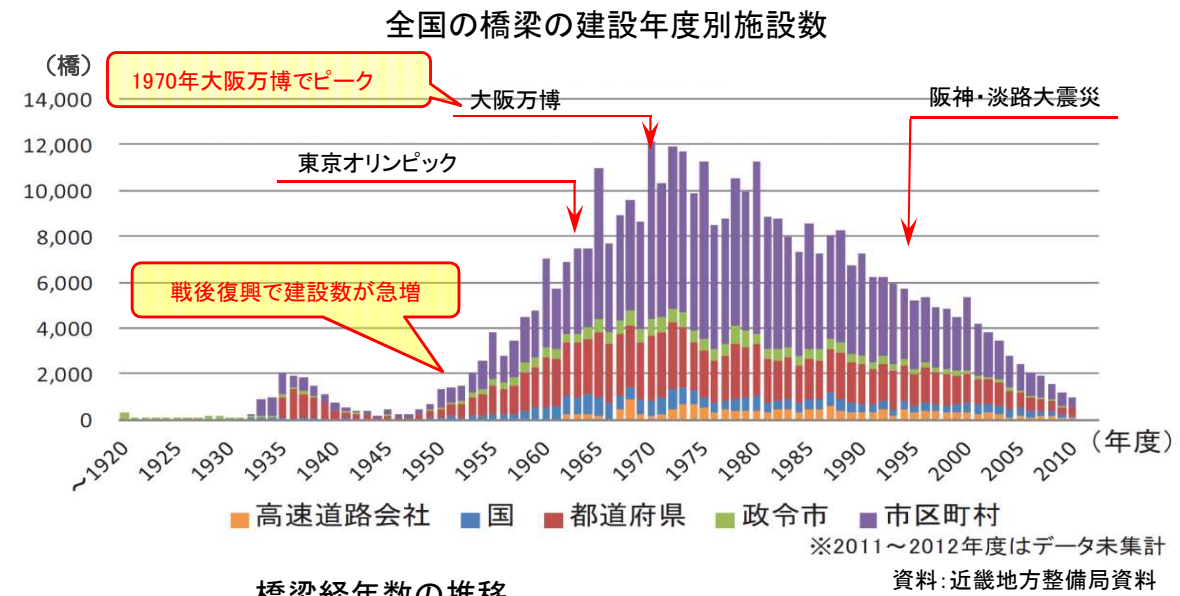
第4章 計画を推進するための方策

- (1)多様な効果を勘案した公共事業評価等の実施
- (2)社会資本整備への多様な主体と参画と関係機関との連携強化
- (3)社会資本整備に関する情報基盤の強化
- (4)関西広域地方計画など他の計画との整合性と他ブロックの連携
- (5)効果的・効率的な社会資本整備のための技術研究開発の推進
- (6)社会資本整備に必要な担い手確保・育成及び生産性向上の取組
- (7)災害時における民間等の参画による社会資本整備の推進

近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画（現状と課題）

現状と主要課題

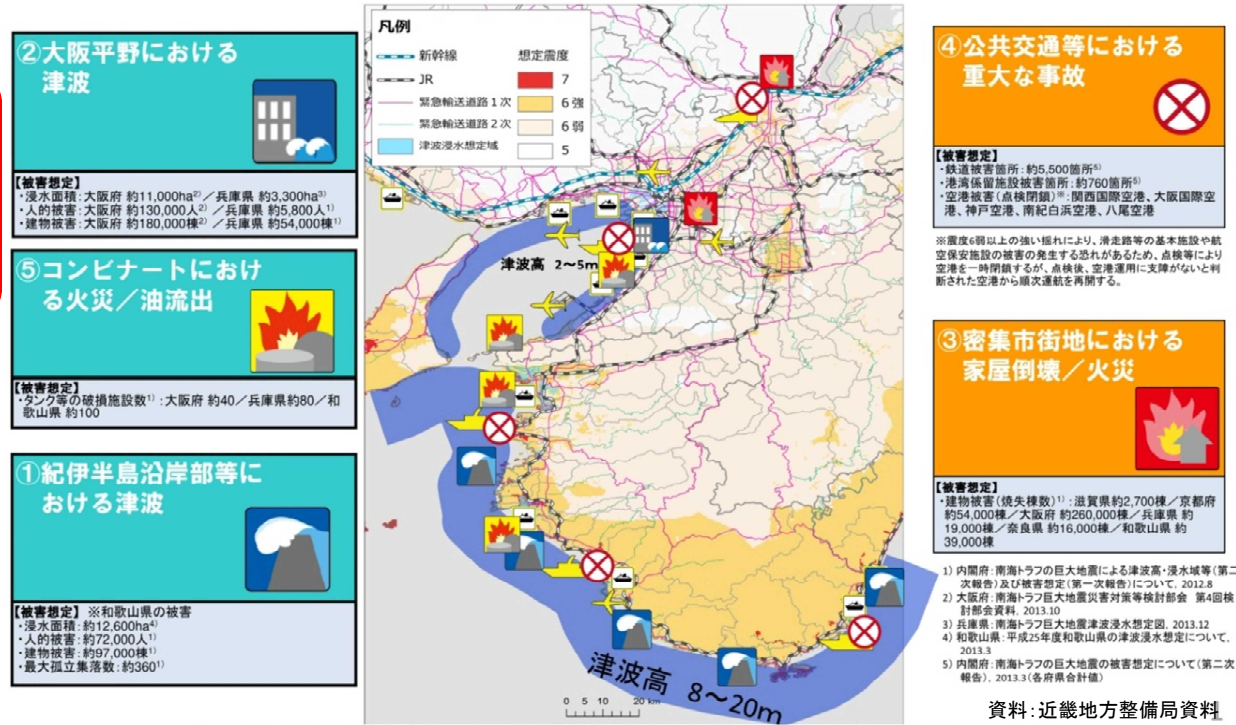
(1) 社会資本の老朽化



(2) 近畿を脅かす自然災害リスク



南海トラフ巨大地震発生時における関西の被害想定

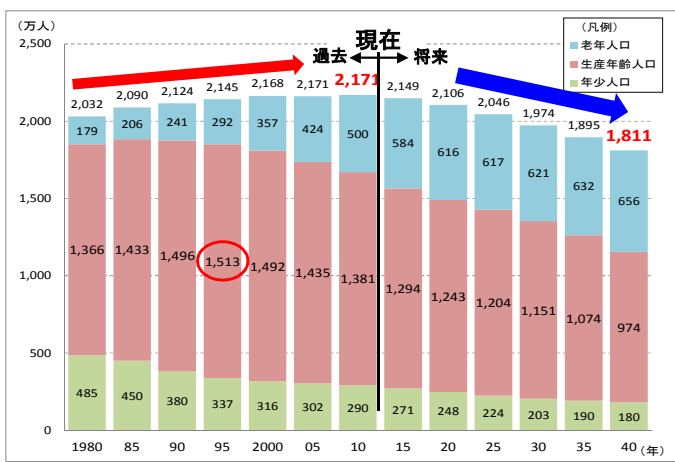


近畿ブロックにおける社会資本整備重点計画(現状と課題)

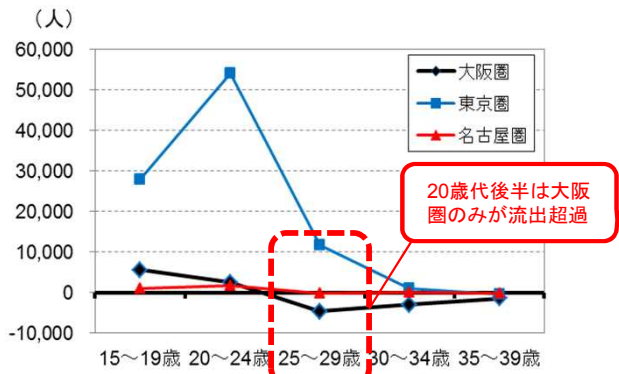
現状と主要課題

- (3) 本格的な人口減少社会の到来と急激な高齢化の進展
- (4) 近畿の相対的地位の低下と東京一極集中からの脱却

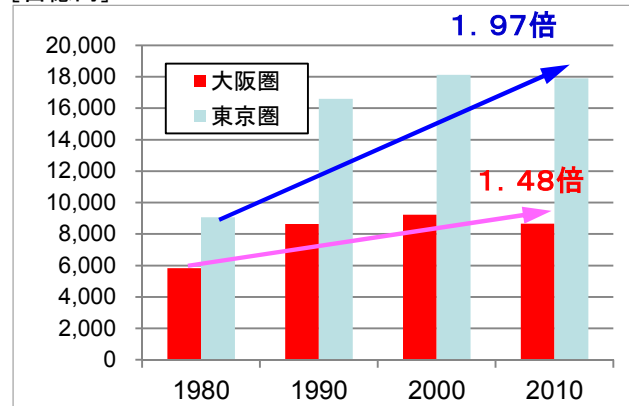
近畿の人口の推移



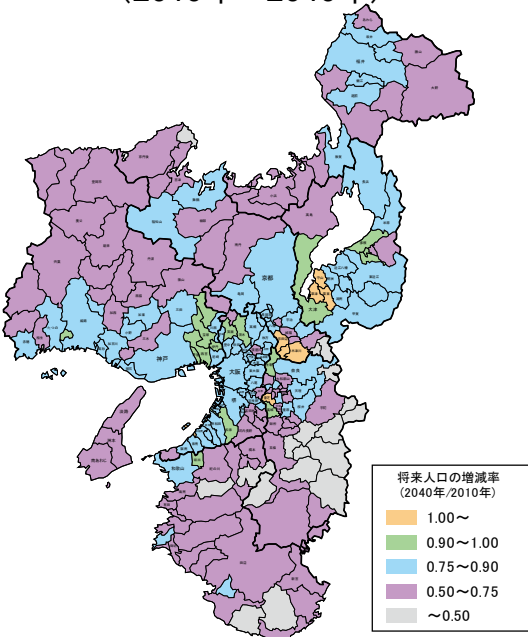
圏域別年代別転入超過量の比較 (2010~2014年の平均)



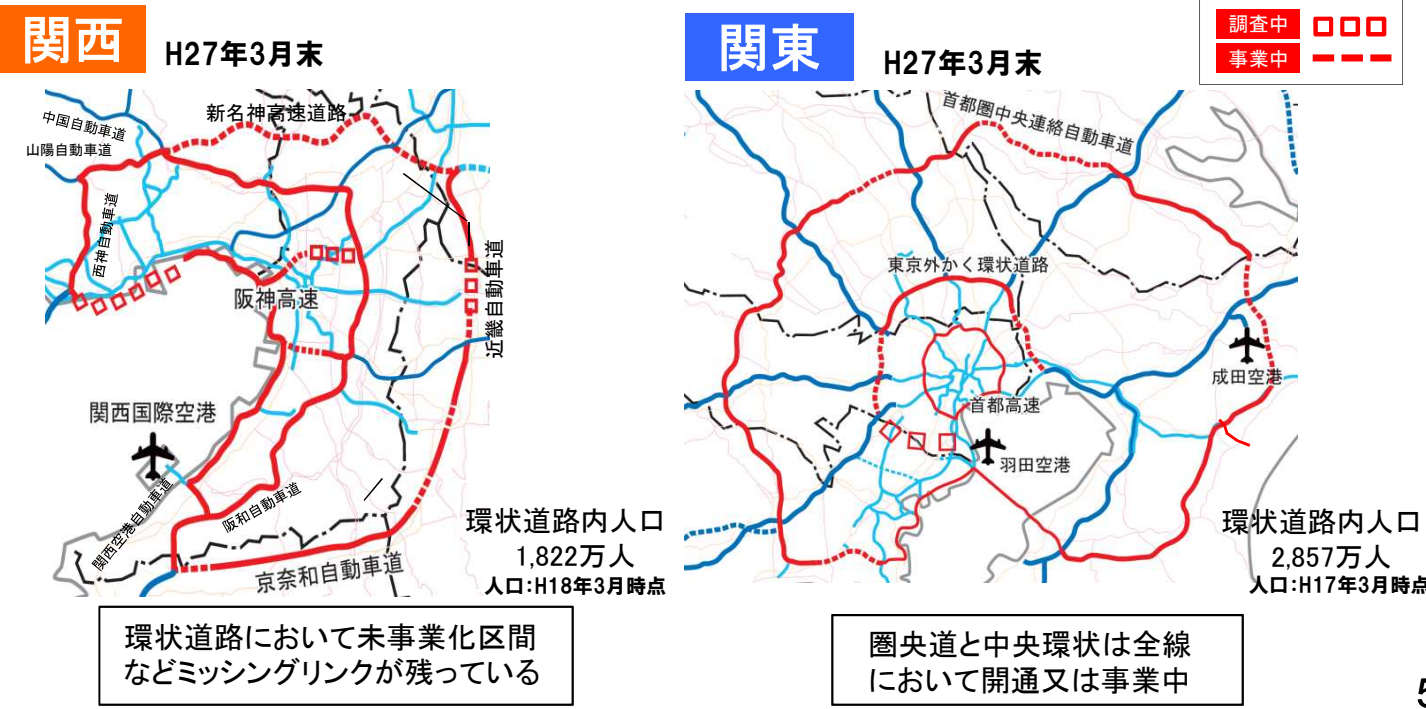
域内総生産額(GRP)の伸び



市町村別将来人口増減率 (2010年→2040年)



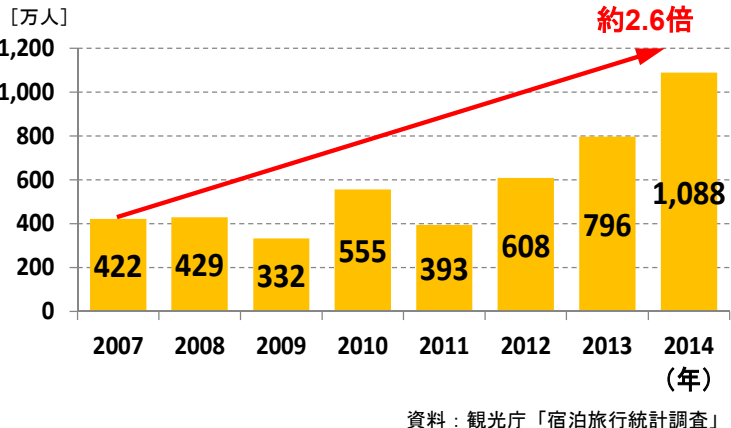
大都市圏の環状道路の整備状況の比較



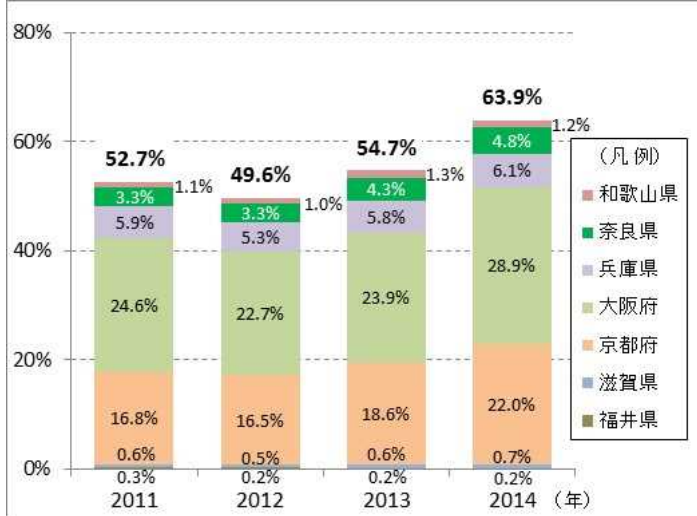
現状と主要課題

(5) 外国人旅行者の急激な増加

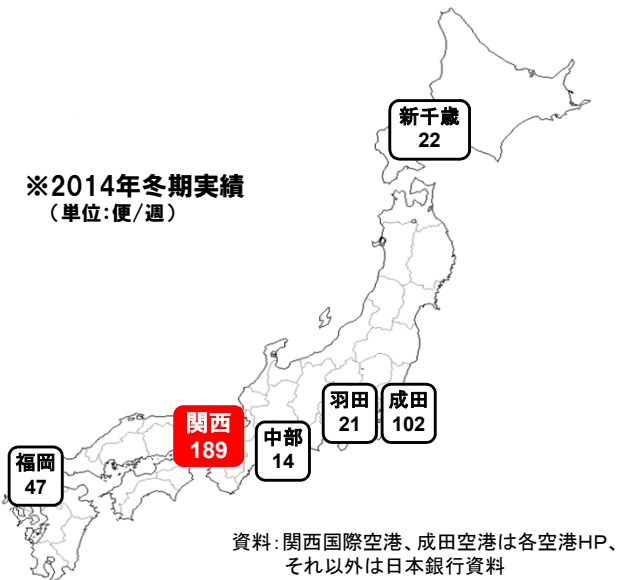
外国人旅行者の推移



訪日外国人の府県別訪問率（関西）



主要空港におけるLCC国際線旅客便数

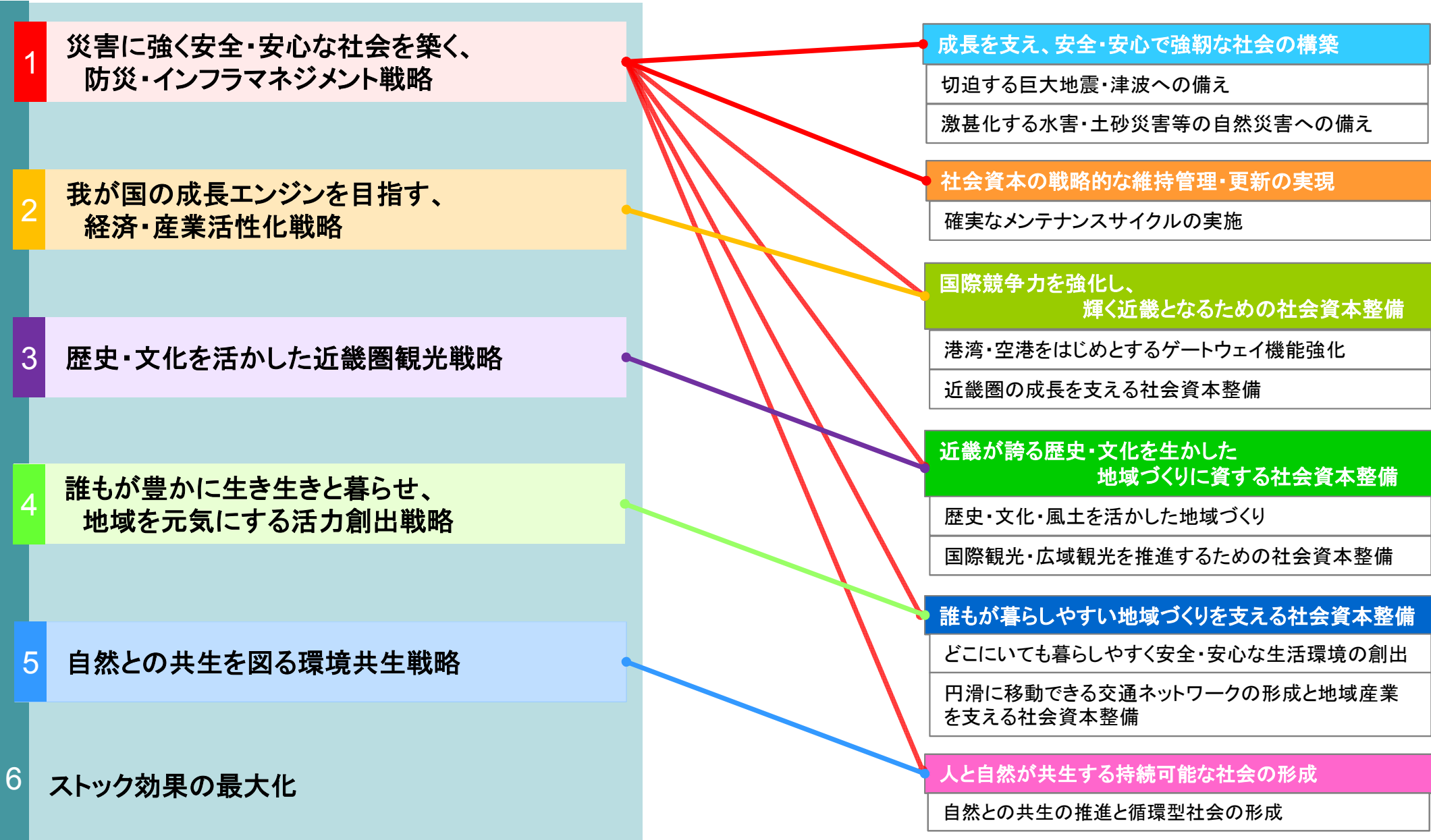


目指すべき将来の姿

- (1) アジアのゲートウェイを担い、我が国の成長エンジンとなる圏域
- (2) 日本の歴史・伝統文化が集積し、世界を魅了し続ける圏域
- (3) 快適で豊かに生き生きと暮らせる圏域
- (4)暮らし・産業を守る災害に強い安全・安心圏域
- (5) 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

基本戦略

重点目標



①成長を支え、安全・安心で強靱な社会の構築

- ・巨大地震への備えとした、公共施設の耐震化・液状化対策、津波対策、交通・エネルギー・ライフラインの代替性・多重性の確保
- ・河川改修、洪水調節施設の整備、洪水・内水対策、海岸堤防の整備等を推進
- ・土砂災害から人命を守る施設等の整備を推進
- ・災害発生時の危機管理対策の強化

②社会資本の戦略的な維持管理・更新の実現

- ・メンテナンスサイクル構築のための個別施設計画の策定・実施
- ・社会資本施設の老朽化対策の推進や新技術の開発・導入

③国際競争力を強化し、輝く近畿となるための社会資本整備

- ・阪神港の「集貨」「創貨」「競争力強化」などの港湾機能強化、関西国際空港の国際拠点空港としての機能強化
- ・物流ネットワークを強化する環状道路や空港・港湾へのアクセス道路の整備を推進

④近畿が誇る歴史・文化を生かした地域づくりに資する社会資本整備

- ・歴史・文化資産を活用した地域づくり、河川等の水辺空間を活用したまちづくりによる魅力向上
- ・観光ルート・観光拠点間の交通アクセスの強化、空港や拠点駅間のアクセス改善、観光客受入環境の整備を推進

⑤誰もが暮らしやすい地域づくりを支える社会資本整備

- ・通学路等の交通安全対策、連続立体交差事業等の推進
- ・コンパクトな集積拠点の形成
- ・美しい景観・良好な環境の創出、暮らしと産業を支える環境整備
- ・暮らし・地域産業を支える交通ネットワークの形成

⑥人と自然が共生する持続可能な社会の形成

- ・多様な生物の生息・生育環境の保全・再生
- ・水と緑豊かで魅力ある都市環境を形成
- ・循環型社会の形成のための取組を推進

計画を推進するための方策

1. 多様な効果を勘案した公共事業評価等の実施	・一貫した事業評価体系の下での公共事業評価の実施 ・政策目標を明確化した上で複数案の比較・評価を行う計画段階評価
2. 社会資本整備への多様な主体の参画と関係機関との連携強化	・住民や施設の利用者を含めた多様な主体の参画の推進 ・府県や市町村等との役割分担を踏まえた相互の補完・連携を強化 等
3. 社会資本整備に関する情報基盤の強化	・社会資本の情報を効率的、効果的に地理空間情報と重ね合わせ共有化 ・土地に関する情報を整備し、地籍整備を推進 等
4. 関西広域地方計画など他の計画との整合性や他ブロックとの連携	・関西広域地方計画との調和 ・北陸、中部、中国、四国の隣接ブロックとの連携強化 等
5. 効果的・効率的な社会資本整備のための技術研究開発の推進	・社会資本の維持管理・更新を実現するための技術開発の促進 ・強靱な国土形成のためのソフト・ハード対策に関する技術の高度化 等
6. 社会資本整備を支える担い手の確保・育成及び生産性向上の取組	・技能・経験に応じた適正な処遇や若手・女性技術者活躍のための環境整備 ・新技術・新工法の活用や情報化施工の活用 等
7. 災害時における民間等の参画による社会資本整備の推進	・「災害時事業継続計画（BCP）」の策定の促進 等